

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和8(2026)年5月13日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【生活安全部議題】

○ 「春の藤原まつり（源義経公東下り行列）」雑踏警備実施結果について

警察本部から、「『春の藤原まつり』が開催された5月1日から5月5日のうち、3日に行われた義経公東下り行列について雑踏警備を実施した。本年の源義経公役はアイドルグループのメンバーである高塚大夢さんが務め、主催者発表で昨年より約3,000人多い約24万8千人の聴衆が訪れた。警備は、昨年と同規模となる警察、主催者等合計412名体制で実施し、警備中における事件・事故はなかった。」旨の報告があった。

○ 「岩手県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー」の委嘱について

警察本部から、「サイバー空間の脅威が増大・深刻化する中、警察のサイバー犯罪対処能力向上等を図ることを目的に平成28年度から運用しているものである。委嘱の要件は、『情報通信企業の職員や大学教授等、情報通信技術に関し高度かつ最新の知識を有する者』、『サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーとしての任務を遂行し得るに足る人格及び教養を有し、かつ、当該業務に熱意がある者』であり、本年度の委嘱者は、岩手大学情報基盤センターの川村暁准教授、一関工業高等専門学校未来創造工学科情報・ソフトウェア系の和山正人准教授の2名で、いずれも再任となる。サイバー犯罪対策課長が警察本部長の代理で両名に委嘱状を交付し、その模様をサイバー犯罪対策課公式エックスに掲載している。アドバイザーの任務は、『サイバー犯罪捜査及び対策に係る必要な知識、技術に関する助言』、『サイバー犯罪捜査及び対策に関する捜査員等への講演等の実施』等であり、講話等を通じて県警の対処能力の向上を図ることとしている。」旨の報告があった。

【刑事部議題】

○ 刑法犯認知・検挙状況について（令和8年3月末暫定値）

警察本部から、「3月末現在における刑法犯の認知・検挙状況であるが、認知件数が全国、東北6県、当県でいずれも増加した。当県の主な増加要因は、窃盗犯が前年同期比で24件減少する一方、特殊詐欺等の知能犯の認知件数が53件増加したものとなる。検挙件数は、窃盗犯の19件の減少を要因に当県のみ減少した。検挙率はいずれも減少し、当県は4.5ポイント減の57.9パーセントで全国12位である。検挙人員はいずれも増加し、主な要因は暴行・傷害など粗暴犯が増加したものである。

県内の状況であるが、重要犯罪は、認知件数が前年比3件増の18件、検挙件数が12件増の25件、検挙率が52.2ポイント増の138.9パーセント、検挙人員が4人増の23人となっており、検挙件数、検挙率が増加した主な要因は、不同意性交等、不同意わいせつの検挙件数が増加したものである。昨年発生した事件を今年に入り検挙したケースを計上しているため検挙率は100パーセントを超えている。重要窃盗犯は、認知件数が前年比14件減の34件、検挙件数が4件減の31件、検挙率が18.3ポイント増の91.2パーセント、検挙人員が3人増の17人となっており、特殊詐欺及び侵入窃盗の状況は、特殊詐欺の認知件数が前年比47件増となる75件と急増している。住宅対象の侵入窃盗は、認知件数・検挙件数とも減少した。引き続き、未検挙事件の捜査を鋭意継続し、事案発生時は早期検挙に向けた迅速・的確な初動捜査を行う。」旨の報告があった。

【交通部議題】

○ 専決事務処理状況（令和8年1月～3月）について

警察本部から、「『交通企画課関係』は、『緊急自動車の指定及び届出』の件数が45件と前年同期比で34件減少した。要因は、緊急自動車の指定のうち警察車両の件数が減少したものである。『交通規制課関係』は、『道路管理者に対する交差点協議等の意見回答』の件数が12件と前年同期比で21件減少した。要因は、大規模なバイパス工事の協議等がおおむね完了するなど、交差点協議の件数の減少によるものと考えられる。『交通指導課関係』のうち、『監督行政庁に対する道路交通法違反通知』は、事業用普通乗用自動車による重傷交通事故に関する通知1件を運輸支局に行っている。『運転免許課関係』は、『停止処分者講習』の人数が228人で前年同期比で53人増加した。要因は、交通違反の検挙件数とともに免許の停止処分者数が増加したものである。」旨の報告があった。

○ 自転車への交通反則通告制度導入後1か月の状況について

警察本部から、「制度導入の4月1日から30日までの1か月間における自転車による交通違反の検挙状況等であるが、速報値で反則告知件数が7件、指導警告件数が343件であった。特徴としては、警告に係る違反種別では、並進禁止が85件で総件数に占める割合が24.8パーセント、一時不停止が58件で同17.0パーセント、信号無視が56件で同16.3パーセントであり、歩行者との衝突や交差点における出会い頭衝突等、重大事故に直結する可能性が高い違反行為が目立った。年代別では、高校生が139件で総件数に占める割合が40.5パーセント、高齢者が43件で同12.5パーセントと多くなっている。県内の4月末時点の自転車関連事故は25件で、うち3件が死亡事故であり、被害者3人はいずれも自転車利用の高齢者であった。先月29日には県内で初めて自転車による酒気帯び運転の逮捕事案が発生し一部報道されたところ、引き続き、『基本的な交通ルールの周知と徹底を図る交通安全教育・広報啓発の推進』、『自転車利用者の交通違反に対する指導取締りの強化』に取り組んでいく。」旨の報告があった。

■個別会議

○ 警務課

岩手県情報公開・個人情報保護等審査会への諮問に対する答申の受理及び行政文書非開示決定処分に対する審査請求の裁決についての説明、決裁

○ 留置管理課

令和8年度岩手県留置施設視察委員会委員の任命及び任命書交付式の開催についての説明、決裁

○ 監察課

監察課業務報告

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁
審査請求に対する弁明（案）についての説明、決裁

○ 交通指導課

岩手県道路交通法施行細則の一部改正についての説明、決裁

○ 総務課

公安委員会あて苦情に係る調査結果及び処理結果の通知についての説明、決裁